

前回第2回有識者会議の開催結果概要と対応方針

資料-2

- 1 日時 令和4年9月1日（木）午後2時00分から3時30分まで
- 2 場所 ルビノ京都堀川
- 3 出席者 田中委員長、麻生委員、西垣委員、松井委員、三谷委員 等

4 議事

京都府水洗化総合計画 2022（仮称）中間案について

5 主な委員意見

(1) 計画全般について

- 中間案として、持続可能な事業運営や汚水処理施設の早期未普及解消など、必要な内容が記載されている。
- 計画をとりまとめる際には、一般の方の協力を得られるよう理解しやすい表現を意識すること。

(2) 「汚水処理事業の持続・成長」について

- 広域化・共同化は重要な取組である。持続可能な事業運営だけでなく、汚水処理施設の未普及解消や大規模災害への対応にも関連する取組である。
- 脱炭素社会への対応については、府民の関心も高い。市町村の取組促進に繋がるように、下水汚泥の有効利用だけでなく、省エネの取組など具体事例の記載も充実させるべき。

⇒（説明1）**府内市町の創エネ・省エネの取組状況の整理、府内事例収集**

全体版 P.32、45～53、102～106

(3) 「快適な生活環境と水環境の向上」について

- 浄化槽の普及および下水道接続の促進については、市町村の取組を後押しできるように、市町村毎の状況の分析や、他府県も含めた成功事例の紹介などの記載を盛り込むべき。

⇒（説明2）**集合処理区域の接続率及び接続方策について、市町村毎の現状の分析、事例収集**

全体版 P.15～17、67～72

参考資料1

(4) その他について

- 新計画の主旨を踏まえ変更を検討している計画名称については、計画の目的を表すキーワードを用いて、なるべくシンプルな方が良い。

⇒（説明3）**意見を踏まえ、再検討** **参考資料2**

6 次回予定

- ・ 10月下旬～11月上旬
第3回有識者会議（パブコメ案について意見聴取）